

広 報



きかい

No. 512

2

平成22年  
(2010)



the most beautiful  
villages  
in japan

- P 2 農地制度が変わりました!
- P 4 シマの話題その1 (認知症大島地区研修会 他)
- P 6 連載 フリムン徳さんアメリカ通信
- P 7 シマの話題その2 (美沢将激励会 他)
- P 8 教育委員会のとびら
- P 9 すこやかニュース
- P 12 「日本で最も美しい村」フォトコンテスト作品募集
- P 13 喜界歌壇・戸籍の窓
- P 14 島に咲く花・日没帯食写真集

## 欠けゆく落陽



### 表紙説明

皆既日食の記憶も新しい1月15日、部分日食が喜界島で観測された。部分日食は数年に一度観測できるが、今回は大変珍しい「日没帯食」。通常の部分日食と違い肉眼で観測できるとあって、スギラビーチや遊歩道では多くの家族連れなどが、幻想的な天体ショーを楽しんでいた。島では54年ぶりの日没帯食で、次に観測できるのは52年後、2062年9月という。【写真：吉行秀和さん 荒木漁港にて】

# 農地制度が 変わりました！

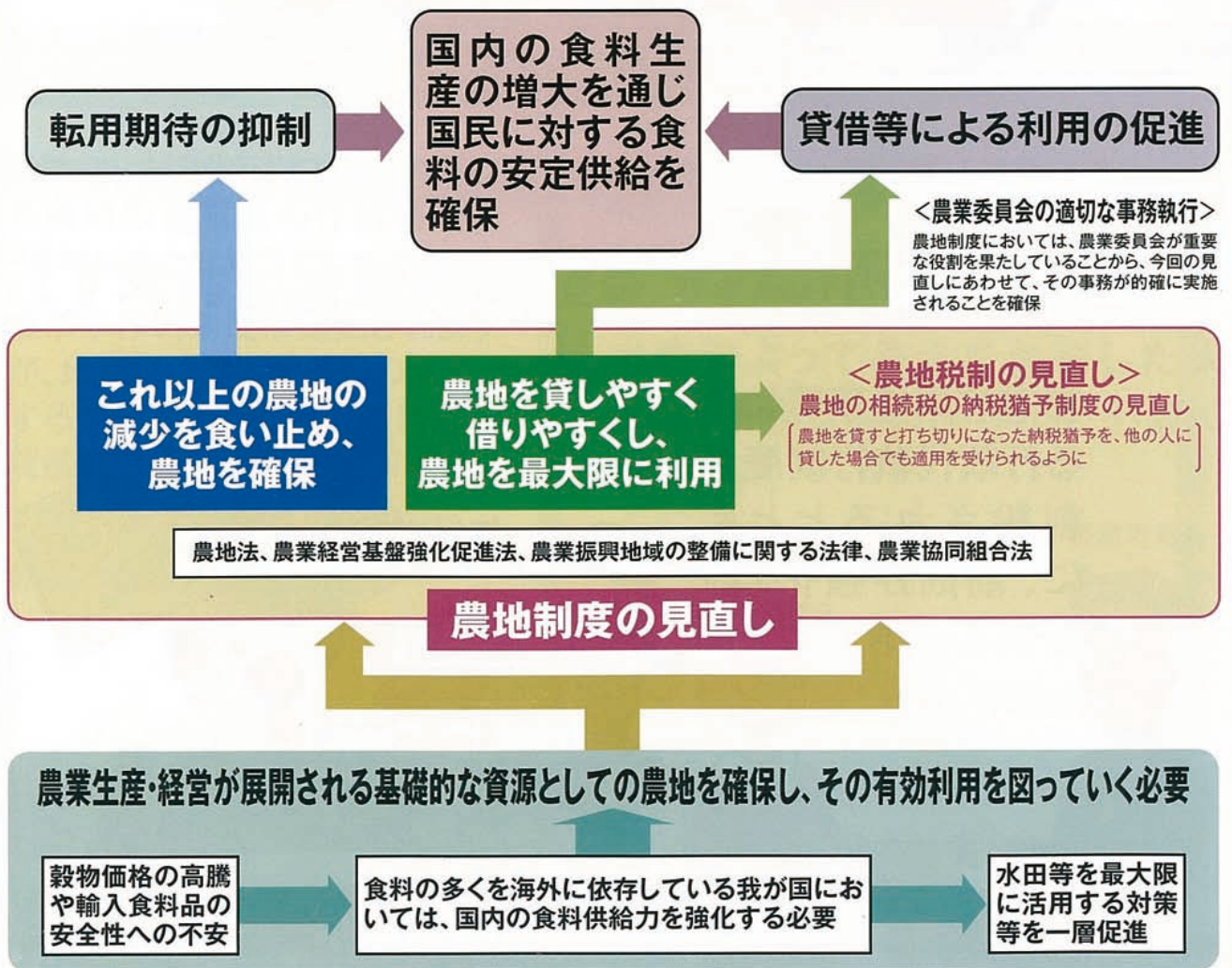
## 制度見直しの概要

## 喜界町の農地利用状況は…

◆ 「農地法等の一部を改正する法律」が昨年12月15日、施行されました。改正農地法等は、耕作者の地位の安定と安定生産を図るため、農地の転用規制の厳格化を進める一方、農地貸借に関する規制の見直し（農地を貸しやすく、借りやすく）、農地の相続税の納税猶予（他人に農地を貸すと打ち切りになっていた納税猶予を、その場合でも適用できるように）などが改正されています。

◆ 本町でも、地下ダムによる畑地かんがい整備の推進やハーベスターの稼働率向上による農作業の省力化、さらには牧草地の面積拡大などにより、耕作地拡大を希望する耕作者が増加しており、一層の流動的な農地の利用促進が必要となります。

## 農地法等の一部を改正する法律の概要



# 農地転用規制が厳格化されます！

より効率的な農地利用の推進を目指します

## ■違反転用に対する罰則が強化されます！

都道府県知事等による行政代執行制度が創設されるとともに、罰則が強化（罰金額の引き上げ）されます。

※その他に、これまで許可が不要であった、病院、学校等の公共施設への転用も、許可の対象となりました。



## ■農用地区域からの除外が厳格化されます！



農用地区域内の農用地については、担い手に対する利用の集積に支障を及ぼすおそれがある場合、同区域から除外できなくなります。

- 民法により20年以内とされている農地の賃貸借の存続期間が50年以内となります。
- 標準小作料制度は廃止されますが、地域における賃借料の目安とするため、農業委員会が農地の賃借料情報の提供等を行います。
- 「小作地」「小作農」等の用語が見直されます。



## 農地の相続は届け出が必要になります！

相続によって農地を取得した人は、農業委員会に届け出が必要になります。



◆お問い合わせは 喜界町農業委員会 65-1111 (内線 80、81)



## 今、認知症の人たちが私たちに伝えたいこと 喜界島で大島地区研修会

大島地区内の認知症グループホーム（集団生活型介護施設）で組織する大島地区認知症グループホーム連絡協議会の研修会が1月13日、グループホームがじゅまる（志戸桶、管理者早川百合枝）であった。

研修会では、鹿児島県認知症介護指導者の坂井明弘さんによる『今、認知症の人たちが私たちに伝えたいこと』と題する講演会があった。

最初に坂井さんは「決して精神疾患でない。高齢者だけの症状ではなく、症状も一人ひとり違う」と認知症についての概要を説明し、また「記憶力や判断力が低下して現実を正しく把握できなくなり、他人のスピードで判断、行動ができなくなる。利用者（認知症の人）の言うことを『間違い』と頭から否定したり、嫌がることを強制することは、我々が考える以上のストレスと恐怖を与えることになる」と症状などを説明した。

さらに利用者との向き合い方については「ゆったり、ゆっくりが大事。本人は間違った言動を正しいと認識している。私たちも帰宅願望があるし、嫌なことは拒否したい。利用者も同様に尊重すべき」と指摘し「日常のストーリーを共有し『3時だからお茶を飲もう』ではなく『散歩して汗をかいたからお茶を飲もう』など、より多くの言葉をかけて判断しやすい環境を作ることが重要である」



分かりやすく丁寧に講演した坂井さん

など、ひとりよがり（スタッフ本位）のケアでなく「利用者の視点に立つケアを」と訴えた。

研修会に参加した平田文人さん（グループホームがじゅまる）は「利用者のペースで判断し達成感を与えるケアの重要性を、再認識できた。今日の研修会を今後、さらに活かしたい」と話した。

### 認知症の現状と課題

高齢社会の本格的な到来により増加の一途をたどる認知症発症者は、国内で約200万人といわれる。

特に離島は情報が少なく、その家族で解決すべき問題との意識が依然として根強い現状があり、家族や行政だけでなく、地域ぐるみの対策が必要とされる。

## まずは家庭で方言を！ かがしま地域文化創造事業・喜界地区シンポジウム

かがしま地域文化創造事業の喜界地区シンポジウムが12月6日、中央公民館であった。

最初に鹿児島大学法文学部長の木部暢子氏が『島唄から学ぶ奄美のことば』と題して講演し「喜界の方言は南北で系統が異なり、発音などで北部は北部奄美、南部は南部奄美に近い」と喜界島の方言の特徴を説明しながら、『どのようにして方言を残すか』について「学校ではなく家庭が重要。2歳まで方言を聞き続ける環境にあれば自然と口にする。方言を禁止した昔と逆に『私は標準語を使いました』という札を首にかければ」と冗談も交えながら話した。

つづいて、方言の日常化と伝統芸能の伝承をテーマに

パネルディスカッションがあり、木部氏の他、同事業大島地区実行委員長の花井恒三氏、湾集落八月踊り保存会の大山哲夫会長、小野津小学校の柳真紀教諭らが参加した。

成果発表では、喜界島民謡同好会が喜界島に伝わる朝花節や志戸桶マンコイ節などを、中里集落が餅もらい唄と方言による寸劇を、湾集落八月踊り保存会は八月踊りや六調をそれぞれ披露した。

最後に花井氏は「成果発表は大人と子どもが融合しているのが印象的。子どもたちの唄う『喜界やよい島』は発達段階で標準語により島唄、三味線に触れることができ素晴らしい。一番だけ方言にしては」と賞賛し「島唄で重要な男女の掛け合いがなかった。子どもたちはもう少し表情を豊かにしよう」と講評した。

## 志戸桶小校区のお家芸・剣道のOB大会で熱戦！！ 親子対決ではお父さんタジタジ！？

志戸桶小体育館でこのほど、第1回志佐剣道スポーツ少年団OB大会があった。

伝統的に剣道がさかんである同校の卒業生らが「親の姿をみて剣道を志す子どもたちが増えれば」と企画した。

OB大会には志戸桶・佐手久両集落の青年団が中心となり、団体戦に5チーム、個人戦に25人が参加した。はじめは動きが硬かった元少年剣士らは徐々にカンを取り戻し、現役さながらの鋭い竹刀さばきをみせていた。団体戦は志戸桶Aが優勝。準優勝は佐手久Aであった。

（次のページ上段へ続く）



島唄を発表した小野津小三味線クラブ

個人戦は熱戦が相次ぎ、延長戦へともつれる接戦となった決勝戦は、坂元博士選手と中島譲治選手の顔合わせとなった。決勝戦に相応しい攻防は、スタミナに勝る坂元選手が猛攻をみせれば、中島選手は粘り強く応戦。延長戦でも決着は付かず、打突の多さにより坂元選手が判定で初代チャンピオンの座に就いた。

今回は親子対戦もあった。親の威厳をみせようとの容赦ない打ち込みには「大人げないぞ」と外野からの野次が飛んだが、高学年や中学生ともなると一転、さすがの親や叔父たちもタジタジになる場面が多く見られた。

面二本を奪い父・浩光さんに勝利した榮佳恋さん（早中1年）は「お父さんと試合できてうれしかった」と話し、「やっぱりお父さんは強かったです」と父親へのフオーも忘れなかった。



父・一之さんを攻める大喜優奈さん（5年）

## フレンチの第一人者、吉野建さんが故郷で講演 山羊カレーの試食も実施 新たな島の名物となるか

健康・感謝・情熱を信条にシマを愛する吉野さん



パリ・ミシュランガイドの”一つ星”レストランオーナーシェフとして日仏両国を股にかけて活躍する吉野建さん（よしの・たてる、川嶺出身）が1月19日、中央公民館で「東京とパリ第一線で働き続けるには〜喜界島とともに〜」と題して講演した。

吉野さんは始めに「湾小2年時に腕を骨折し、治療のため2年半東京の親類宅で過ごした体験が島外へ、そして海外へ目を向けるきっかけとなった」と説明。喜高校卒業後は友人に誘われて自衛隊へ入隊するも、東京への想いが断ち切れず上京し、ウエイターとして働く。そこでフランス料理と出会い、シェフを志したという。

その後、27歳の時に持ち前のチャレンジ精神で渡仏。屋根裏の三畳一間に住み込み、

## 皆既日食の島を学びにきました！ ～熊本から商工会女性部が来島～

熊本県の県南地区商工会女性部連絡協議会（久保田ツヤ子会長）は1月18日、喜界島を訪れ、町商工会女性部（豊島代子部長）と交流を深めた。

今回の訪問は、昨年9月に岩手県であった商工会女性部全国大会の主張発表会で最優秀賞となった豊島部長の発表に感銘を受けた久保田会長らの「豊島さんがアピールした喜界島の美しい自然や文化に触れ、ぜひ女性部の取り組みを学びたい」との思いで実現したという。

交流会は町商工会会議室であり、豊島部長は「商工業は大変厳しい環境にありますが、女性が元気を出さないと家庭、地域、企業の活気が出ません。商売に最も大事な『もてなしの心』を忘れずに、ともに頑張りましょう」と歓迎のあいさつをした。また、喜界町の概況説明や皆既日食での女性部の取り組みなどの報告があり、久保田会長らと積極的に質疑応答や意見交換などをした。

その後、一行は島の食材をふんだんに用いた昼食に舌鼓を打ち（十兵衛の「島御膳」）、“シマあるきガイド（よんよーり喜界島）”にも参加。豊島部長の観光案内と島唄で喜界島を満喫し、「カラのポストンバッグを持ってきました」と島の特産品も争うように買い求めていた。



活発に情報や意見の交換をした

頼る人がなく言葉も通じないなか努力を重ね、メキメキと腕を上げた。吉野さんは「当時500人くらいの日本人が修行をしていたが、すぐに帰る人がほとんど。苦勞をしないと大成しないが、私は修行を苦勞と思わずに楽しんだ」と当時を振り返った。

帰国後は一流シェフとして脚光を浴びるが、オーナーとしての本場での勝負をあきらめきれず再渡仏。さまざまな障害に精神的、体力的に辛い時期があったものの、ついに2006年、ミシュランの一つ星を獲得した。

現在は、スイスで毎年行わ

れる各国首脳や世界的企業のトップが参加する世界経済フォーラム（ダボス会議）の料理長を2007年に務めるなど多方面で活躍するが、兄弟子たちに任せる各地のレストランをプロデュースしている。今後の目標としては「大衆向けの料理を手掛けた」と話す。

講演会後は、町商工会の要望により吉野さんが作った山羊カレーの試食会があった。

試食した原田尚二さんは「山羊臭さはないのに山羊の風味は充分活かされている。新たな島の名物になるのでは」と期待していた。



超一流のフレンチシェフによる山羊カレー

なお、同時に島の食材を使った特産品の展示試食会もあり、吉野さんも試食してアドバイスを送っていた。

「広報きかい」版  
フリムン徳さんの  
アメリカ便り  
Vol. 11



### 『ブラッドレーの春と牛』

ブラッドレーには1年に1ヶ月、新緑の雪が降る。真っ白い雪に覆われた白銀の世界ではなく、新緑の牧草に覆われた世界になるのだ。360度見渡す限りの山々も、広い牧場も新緑のゴルフ場になる。ブラッドレーの春の禿げ山や牧場の新緑の色には、海と空の青色が入っているような気さえる。それも2月の終わりから3月の終わりのたったの1ヶ月間位である。その珍しい新緑は場所を間違ったと気づき、慌てて空と海へ帰って行くようである。

この季節以外は灼熱の暑さと乾燥の枯れた灰色で覆われが、“山の砂漠”といわれるこの地方において、この短い春の季節だけは人々の心を和ませる。その“山の砂漠”ブラッドレーは、サンフランシスコから南へ車で3時間、ロサンジェルスから北へ4時間半の海拔千フィートの山地で、ゴルフで有名なペブルビーチと同じモンテレー郡に属している。

オナゴはんを一番尊敬しているフリムン徳さんにとっては、町の男性よりもオナゴはんに見せたいこの季節。新緑の山や牧場に恋する季節である。そこから見る緑と一味もふた味も違う新緑である。山の裾野に大波小波で緩やかにうねる新緑は、牛や馬ばかりじゃなく、人間も食べたくなるような、おいしそうな新緑の色である。広い牧場はどこまでも続き、山の中腹の所々にある低木の濃い緑が、裾野の緑を一層くっきりと引き立てている。気持ちよく感じられるのは、周りに家が少なく、視界が広がるためだろう。

この時期にはいっせいに牛がどこからか戻ってくる。緑のある暖かい所から舞い戻って来たのだろう。牧場で草を食んでいる牛の群れは赤、白、黒、様々である。遠くから見ると、広い牧場の所々に赤、白、黒の花が咲いているようでもある。空を見上げるとどこまでも澄み切った空が深い。まるで絵葉書みたいに見えるブラッドレーの景色である。

この人間でさえ食べたくなるほどおいしそうな新緑の草を牛達は1日に約9kg食べ、2kgから4kg太るらしい。それが乾燥草ではその半分しか太らな

い。だから、春の緑の牧場で草を食べている姿は忙しそうに生き生きしている。見ている人間の心を癒してくれる。ところが人間はこの牛達を殺して肉として食べてしまう。どうも人間様のすることは矛盾しているようである。

私の土地の一部、約7千坪を柵で囲み、牛を飼おうとしたことがある。向かいのカウボーイから、私の土地に生えている牧草は牛を飼うのにアメリカで一番適していると聞いたからでもある。4、5頭なら夏、冬でも乾燥草を買ってくる必要もなく、目の前の牧草で充分養えるし、あとは水飲み場と、畳2畳ほどの広さの日陰があればできる。そのために、いろいろと牛について勉強をした。近くの牛を

飼っている人に聞いたら、30頭の牛を飼育すれば、夫婦2人が生活する分には充分稼げるといふ。ええ話やないですか。

そこで嫁はんと2人で、日曜日に開かれる近くの町テンブルトンの牛のオークションに何回も通った。毎日曜日に何千頭もの牛が連れてこられてオークションにかけられている。その風景は西部開拓時代そっくりである。カウボーイハット、カウボーイの靴、襟に捲いたマフラーの姿を見ていると昔の開拓時代に戻ったような気持ちにさせられる楽しい一時だった。

階段状になった観客席の下に、太い丈夫な鉄のパイプで作られた小さな柵がある。次々に、小さなよちよち歩きの子牛から4歳ぐらまでの牛が数頭ずつ柵に入れられ競りにかけられる。場内の人ほとんどが男も女もカウボーイスタイルですべてが白人。東洋人は嫁はんと私だけ。彼らは私達をどんな気持ちで見ているか気になる。

生まれたての子牛は1頭がだいたい80~100ドルから。もし子牛を買ったら、3ヶ月ぐらいは母親代わりになって粉ミルクをやる。粉ミルク代を節約したかったら山羊を飼って山羊の乳を飲ませる。だから、子牛はだいたい母親牛と一緒に競りにかけられる。白、赤、黒の毛色で値段が違う。アメリカで高い牛はブラックアンガスと言う黒毛らしい。そういえば、そんな名前のレストランを何回か見たこともある。

これだけ牛のことを勉強して、柵もほとんど出来あがり、水を飲ませるための桶を買ったまではよかったが、足の関節の痛みが酷くなって計画を断念せざるをえなくなった。足が悪くて、牛よりも歩きが遅い人が牛を飼うのはおかしいと、牛がそうモーションしているみたいだった。ちなみに6エーカーの土地に、柵を作る鉄条網と鉄の杭と水桶の出費は300ドル以内だった。いつか足が治った時には牛を飼えるでしょう。その時はまた牛についてのエッセーをいくつか書いてみたい。

「プロでも頑張っ!!」島のファンが美沢将選手を激励  
美沢選手「2年で一軍」と決意表明

埼玉西武ライオンズの美沢将選手の入団祝賀会・激励会が12月29日、250人を集めて喜界第一ホテルであった。

この会は、町野球連盟や喜界高校野球部OB会らの有志でつくる激励会実行委員会（柳常雄会長）が主催した。

柳会長は開会のあいさつで「多くの方々和美沢選手の快挙を祝いたく企画した。今日は本人に多くの激励、アドバイスをいただければ」と話し「加藤啓雄町長を会長として美沢将後援会も立ち上げた」と報告した。次に、加藤後援会長は「暗いニュースが多い中、町民や子どもたちに元氣と夢を与えてくれ、島のPRにもなった。町民一同、活躍をお祈りします」と話した。

恩師である久保正樹喜高野球



250人のファンが詰めかけた

部監督は「早朝、誰よりも早くグラウンドに現れてバットを振り、練習後は毎晩千回の腹筋に付き合わされた。初めて握ったゴルフクラブで、320ヤードも飛ばすほどの身体能力の持ち主。晴れてプロ野球選手となったが、一軍で初ヒットを打つまで『おめでどう』の言葉は封印している」と話し、「シーズンオフには大好きな『釣り』でリフレッシュするために帰ってくるだろうが、そつと『ゆつくり休めよ』と声をかけてもらえれば」と師匠ならではのエピソードを披露しながら、弟子への気遣いもみせた。また久保監督は、プロ注目の植村剛君（中里出身）など4人を壇上へ上げ「美沢選手に続く期待の教え子」と紹介した。

他に、同級生らからの花束贈呈もあり、当時の喜高野球部主将の穂積鉄也さんは「1年のデビュー戦に三塁打で周囲の度肝を抜いたようにプロでも頑張っ。所沢（西武の本拠地）で同窓会をしよう」と話した。

美沢選手は終始、ファン第一号となった多くの町民一人ひとり と歓談や記念撮影をし、激励を受けていた。

最後に美沢選手は「島のみなさんのお陰でプロになりました。2年で一軍に上がれるよう頑張

部監督は「早朝、誰よりも早くグラウンドに現れてバットを振り、練習後は毎晩千回の腹筋に付き合わされた。初めて握ったゴルフクラブで、320ヤードも飛ばすほどの身体能力の持ち主。晴れてプロ野球選手となったが、一軍で初ヒットを打つまで『おめでどう』の言葉は封印している」と話し、「シーズンオフには大好きな『釣り』でリフレッシュするために帰ってくるだろうが、そつと『ゆつくり休めよ』と声をかけてもらえれば」と師匠ならではのエピソードを披露しながら、弟子への気遣いもみせた。また久保監督は、プロ注目の植村剛君（中里出身）など4人を壇上へ上げ「美沢選手に続く期待の教え子」と紹介した。

りますので、ご声援をお願いいたします」と感謝と決意の言葉を述べた。

幼稚園からの幼なじみという二中の同級生も大勢駆け付け、前島隆太さんと金井あゆみさんは「マチャル（幼少時のあだ名）、二中魂を忘れずにチバリヨ！」とエールを送っていた。



「美沢先輩に続け!」（左から原泉君、相良悠馬君、美沢選手、川畑一英君、植村剛君。身長181cmの美沢選手が小さく見える）

本町湾出身の女子プロゴルファー、久保樹乃プロが1月12日、父・正樹さんとともに加藤啓雄町長を表敬訪問した。

平成6年にプロテスト合格後、徐々に頭角をあらわした久保プロは、主要大会であるヴァーナルレディースに優勝するなど賞金ランクの上位に名

「これまでの応援に感謝」久保樹乃プロ（女子ゴルフ）が町長を表敬訪問

難関の日商簿記2級に合格!  
生島良平君（喜高3年）



「初めての挑戦で合格できうれしいです。今後は大学へ進んで専門的に学び、日商簿記1級や税理士資格の取得に挑戦したいです」

を連ねトッププロとして活躍したが、体調を崩して以降、トーナメントツアーからは一線を引いている。

現在はレッスンプロや国内・海外のプロアマ戦へのスポット参戦など、多忙な日々を送っているという。

久保プロは毎冬、喜界ガーデンゴルフで自主トレを行っており、「日頃のご支援に報いたいと常々考えていた」（久保プロ）と、金一封を町へ寄付した。

プロ野球の美沢将選手や自身の例を挙げて久保プロは「島の子どもたちはゴルフにも可能性があると感じる。（特に要望はないが）子どもたちを含め、ゴルフ人口の拡大やゴルフ場のサービス向上などに（寄付金を）活用していただければ」と話した。



加藤町長に金一封を手渡す久保プロ（中）

親子で運動を  
楽しみました

平成19年度より  
文部科学省委託事  
業の「体力向上の  
基礎を培うための  
幼児期における実践活動の在り  
方に関する調査研究」を実践し  
ております。本事業は幼児期の  
体力向上や生活習慣の確立を目  
指すものです。

湾幼稚園を実践園、上嘉鉄・  
荒木・滝川・早町・志戸桶・小  
野津幼稚園を協力園とし、調査  
研究をしています。

12月20日(日)はその取組と  
して、親子スポーツ教室を湾小  
学校体育館で実施しました。

当日は、園児・保護者・幼稚  
園職員合わせて、47名の参加で  
した。

講師として、本年度も鹿児島  
純心女子短期大学非常勤講師の  
吉留早木子先生を招きました。

「親子で楽しく体を動かそう」  
をテーマに、主にリズム遊びを  
して楽しみました。「しのび足」  
「バスにのって」等、子どもたち  
にとっておなじみの曲にのせて  
体を動かしたり、マイケル・ジャ

クソンの「スリラー」も踊った  
りして、楽しく体を動かしまし  
た。

参加した保護者は、「1時間は  
長いと思っていましたが、あっ  
と言う間でした。自分の運動不  
足も痛感したので、これからは、  
もっと親子で運動する機会を増  
やします。」と話しました。



親子でのふれあい

中学校での学習の  
成果を発表

中学校英語暗唱・弁論大会が、  
12月10日(木)に第二中学校体  
育館で開催されました。英語暗  
唱の部と国語弁論の部で、各中  
学校の代表が日頃の学習の成果  
を発表しました。

英語暗唱の部では、共通の課  
題文をもとに、表現力・発音等

を意識して、また、国語弁論の  
部では、個人の体験や考えを文  
章表現した上で、発表しました。

どの生徒も代表者らしく堂々  
と発表でき、発表後は代表一人  
一人に惜しみない拍手が起こり  
ました。

結果については、左記の通り  
です。

【英語暗唱の部】

最優秀賞

中山 真由 (第一中)

優秀賞

寿 めぐみ (第二中)

芳村 有紗 (早町中)

長田 美那子 (第一中)

前島 智美 (第二中)

辻 美和子 (早町中)

【国語弁論の部】

最優秀賞

作田 いづみ (第二中)

優秀賞

重野 瑞季 (第二中)

登 千慧 (早町中)

築 彩香 (第一中)

芳村 有紗 (早町中)

園田 樹乃 (第一中)

火災・震災その他の災害  
から重要文化財を  
守ろう!

第56回文化財防火デー防火訓練

1月24日に中央公民館(民俗  
資料室)で赤連子ども会・赤連  
地区民及び関係機関を含めた70  
名が参加し、標記訓練を行いま  
した。

文化財防火デーは、昭和24年  
1月26日に法隆寺金堂壁画が焼  
損したのを教訓に、全国的に文  
化財防火運動を展開し、国民一  
般の文化財保護思想の高揚を図  
る目的で実施しています。



喜界分署と中央分団による消火作業の様様

当日は、重要文化財が保管し  
てある民俗資料室から出火し、  
見学者が取り残されたとの想定  
で、火事をいち早く消し止め、

見学者を救出し、文化財を火災  
から守るという内容で大島地区  
消防組合喜界分署と喜界町消防  
団(中央分団)とが連携して行  
いました。



埋蔵文化財担当職員から「城久遺跡群」  
について説明を受ける参加者

その他、喜界分署署員による  
消火実演指導や町文化財保護審  
議会委員と埋蔵文化財担当者に  
よる民俗資料室展示物・城久遺  
跡群出土品等の説明があり、参  
加者は熱心に聞き入っておりま  
した。







## 冬場に流行 感染性胃腸炎

毎年冬場に流行する感染性胃腸炎（いわゆる嘔吐下痢症）。その多くがノロウイルスによるものと言われます。鹿児島県でも1月末に流行発生警報が発令されました。

### ●潜伏期間・症状

潜伏期間は通常1～2日

主な症状は、吐き気・嘔吐・下痢・発熱です。通常1～3日で回復します。回復しても数日は便の中にウイルスが出ます。

### ●感染経路

①経口感染 汚染された食品（主に牡蠣などの2枚貝）を生あるいは十分に加熱しないで食べることによる感染

②接触感染 ウイルスで汚

染されたものを触り、その手で食事をしたり手をなめたりすることによる感染

③飛沫感染 患者の嘔吐物や下痢便から生じる飛沫を吸い込むことによる感染

### ●予防法

①手洗い・うがいをしつかりしましょう。予防の基本です。手洗いは流水で、せっけんを使用しましょう

★排便後 ★患者の看病後 ★調理の前 ★食事の前 ★外出から帰宅した時など

②患者の嘔吐物等の処理は

「すぐに拭き取る」「乾燥させない」「消毒する」が3原則！！

★処理の時は、ビニール手袋、マスクを着用すること

★拭き取った汚物はビニール袋等で密閉して捨てる。

★汚染された場所は、塩素系漂白剤（ハイター、ブリーチなど）で消毒する。（※使用の際は使用上の注意をお読み下さい。）アルコールによる消毒は

あまり効果がありません。★処理後は、必ずせっけんであらう洗いましょう。③食品は、中心温度85℃以上で1分間以上加熱しましょう。

あまり効果がありません。

★処理後は、必ずせっけんであらう洗いましょう。

③食品は、中心温度85℃以上で1分間以上加熱しましょう。



### ◆◆◆◆◆ 新型インフルエンザ ワクチン接種について

昨年10月から優先接種対象者へのワクチン接種が順次進められてきました。2月1日からは、どなたでも接種を受けることができるようになりました。喜界町では、次の方へ接種費用の助成を行っています。

#### ＜助成対象者＞

- 生活保護世帯、町民税非課税世帯に属する方
- 1歳～高校生までのお子さん

助成を希望する方は、接種を受ける前に保健センターすこやか

かで助成券の申請をしてください。印鑑等は不要です。

自分が助成の対象になるかわからないという方は、すこやかセンター（☎65-3522）までお問い合わせ下さい。

ここ数年、初夏の頃にもインフルエンザの流行が見られています。これまで通り、こまめな手洗い・うがいと、体調管理でインフルエンザを予防しましょう。

### ◆◆◆◆◆ あなたの心は元気ですか？

- ・眠れない、早朝から目が覚める。
- ・お酒の量が増えている。
- ・不安でたまらない。一人であるのが怖い。

などの症状がありませんか？一人では抱えないで、周りの人や医療・相談機関に相談しましょう。

### ◆◆◆◆◆ 子どもの予防接種について

小学6年生の二種混合（破傷風・ジフテリア）、中学1年生、高校3年生のMR（麻しん・風しん）の予防接種はみなさんお済みですか？定期の予防接種として受けられるのは、今年の3月までです。幼稚園の年長さんも、母子手帳を開いてみてまだ終わっていない予防接種がありましたら、入学前にぜひ終わらせてください。予防接種には個人の病気の予防という目的のほかに、社会全体の健康を守るといふ目的があります。ぜひ体調の良いときに早めに接種を受けましょう。お問い合わせ、ご相談はすこやかセンター（☎65-3522）へ。



『心の健康』相談機関

- ・精神保健福祉センター（☎099-255-0617）
- ・大島支庁地域保健福祉課（☎57-7243）
- ・こころの電話（☎099-255-0797、7974）
- ・いのちの電話（☎099-250-7000）
- ・すこやかセンター（☎65-3522）

## 県営コーラル喜界団地空家待ち順位登録について

「空家待ち順位登録」とは、県営住宅入居希望者の抽選により登録順位を決め、空家が発生したときに順番に入居していただく制度です。

平成22年度分の受付は、下記のとおりです。希望される方は、期間内にお申し込みください。

### ●申込書の配布・受付

平成22年2月1日(月)から**22日(月)**までの午前9時から午後5時

### ●抽選日

平成22年3月3日(水)

### ●申込書配布・受付 問い合わせ先

大島支庁喜界事務所総務係 ☎0997-65-2091

※1 現在、空き家待ちをされている方につきましても、今回申込みをされないと、これまでの登録は無効になりますので、御注意ください。

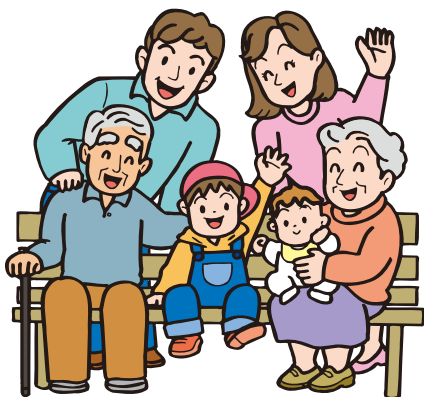
※2 空家待ち順位登録の受付は今回限りですが、入居申込みにつきましては随時受け付けております。ただし、入居順位は、上記申込みによる抽選で決まった方の後になります。

※3 今回の順位登録期間は、平成22年4月1日から平成23年3月31日までですので、その間に空家がでなければ順番は無効になります。1番の方であっても、空家が発生しなければ入居できませんので、御承知おきください。期間中に入居できなかった方で、引き続き入居を希望される方は、次年度に再度申込みしていただくことになります。

## 名瀬保健所移転のお知らせ

名瀬保健所は、地域住民の利便性の向上や効率的な組織運営等を図るため、大島支庁本庁舎敷地(別館1階、2階)に移転します。

移転先は、右記のとおりです。



現在地：〒894-0032 奄美市名瀬柳町2-1  
TEL 0997-52-5411  
FAX 0997-53-7874

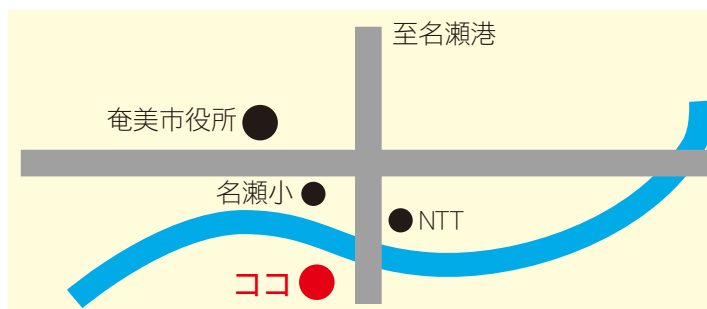
移転先：〒894-8501 奄美市名瀬永田町17-3  
大島支庁別館(1階、2階)

TEL 0997-52-5411

FAX 0997-53-7874

※従来の電話番号、ファックス番号に変更はなく、そのまま使用できます。

移転日：平成22年3月4日(木)



問い合わせ先 大島支庁健康企画課(名瀬保健所) ☎0997-52-5411

# 平成 22 年 4 月から

## 対象者

- 認定基準に該当する肝臓機能障害のある方
- 肝臓移植を受け、抗免疫療法を実施している方

## 手続き

申請書、診断書、写真（たて 4 cm × 横 3 cm）をお住まいの市町村の担当窓口へ提出してください。  
※診断書は、身体障害者手帳指定医が作成したものに限ります。  
※市町村によって、提出書類が異なる場合があります。

## 【認定基準】

主として肝臓機能障害の重症度分類である Child - Pugh 分類によって判定します。

3ヶ月以上グレードCに該当する方が、概ね身体障害者手帳の交付対象となります。

ただし、診断前の6ヶ月間にアルコールを摂取している方等は対象とはなりません。

※ Child - Pugh 分類

肝性脳症、腹水、血清アルブミン値、プロトロンビン時間、血清総ビリルビン値によって肝臓機能障害の重症度を評価します。

詳しい手続き方法や認定基準の内容、指定医のいる医療機関などについては、お住まいの市町村の担当窓口までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 喜界町役場 保健福祉課

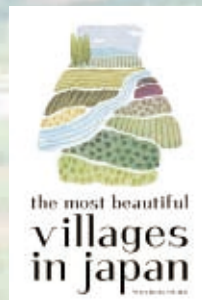
☎ 0997-65-1111（内線37）

肝臓機能障害による  
身体障害者手帳が交付されます。

# 「日本で最も美しい村」連合 (平成21年10月喜界町加盟)

# フォトコンテスト

# 作品募集



昨年度グランプリ作品『月夜の棚田』  
(愛媛県上勝町 撮影：今出 光俊)



準グランプリ作品『至福のひととき』  
(長野県南木曾町 撮影：青木孝義)



準グランプリ作品『雪の舟屋』  
(京都府伊根町 撮影：吉田五郎)

## 「日本で最も美しい村」連合とは

私たちは、失ったら二度と取り戻せない、そんな日本の農村漁村の景観や文化を守る活動を始めました。小さくても輝くオンリーワンを持つ農村漁村が、自らの町や村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けることをお手伝いします。

自然と人間の営みが長い年月をかけてつくりあげた小さな、本当に美しい日本は今、まだ各地に残されています。それらを慈しみ、楽しみ、しっかりと未来へ残すために、自らの地域を愛する皆さんにご協力いただきながら活動しています。

## ■テーマ/日本で最も美しい村の情景

■応募締切/ 2010年7月20日 (当日消印有効)

## 【お問い合わせ】

「日本で最も美しい村」連合事務局  
(北海道美瑛町政策調整室内)

TEL 0166-92-4330 FAX 0166-92-4414

E-mail: seisaku\_chousei@town.biei.hokkaido.jp

HP <http://www.utsukusii-mura.jp>

喜界町役場企画課 ☎ 65-1111 (内線23)

# 喜界歌壇

〈ミーニシ会〉

海隔て見さくる向こう大島の

空に紅掃く夕暮れの雲

林 蓮香

空仰ぎオリオン星座に真向かいで

迷うことなく黄泉へと願う

有村 道子

家ごとに営みありて灯をともし

夕暮れ時の窓あたたかき

平尾 千ヨ

若水も水道ひねる世となるも

庭の清ら砂新年を祝ぐ

美代 イシ

開発を逃れし蘇鉄に絡む鳶

払えば赤き実を抱きおり

弥島 幸子

人波のままに入りにし川越の

蔵づくりなる根太ふとき家

武田 幸子

残照に海面は映えてきらめけど

奄美山羊島暮るるむらさき

嶺倉 祝子

〈萌葉会〉

年ごとに欠けゆく集い年初月迎春

の仲友の死を聞き

豊島 瞳

世話役の内助忙しき敬老会

踊り接待務めて終えり

平島 初子

本町短歌愛好者の広がりを目指し「萌葉（もえば）会」が誕生しました。同会は、初心者を中心に新メンバーを募集します。あなたも喜界歌壇にひらく「萌える若葉」になりませんか。

連絡先

徳 成寿 ☎ 65-3522

（職場：すこやかセンター）

企画課 ☎ 65-1111

（内線23、植村）

## 戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん

氏名 保護者 住所

筑紫 莉子 康之 湾

若松 暖 哲也 湾

武 虹々愛 恵志 白水

いつまでも

お幸せに

氏名 住所

徳 哲也 湾

福崎紗裕理 湾

榮 勝也 湾

峰山 ルミ 湾

基井 英明 湾

福原 里美 湾

住所 氏名 年齢

荒木 久保 勝 83才

羽里 矢竹 トメ 84才

花良治 盛山 元理 71才

志戸桶 梅林 幸譽 87才

荒木 盛澤 博文 52才

嘉 鈍 大山初津子 64才

阿 伝 岡本 恒 83才

志戸桶 吉野 照雄 92才

手久津久 前田 末 92才

志戸桶 龍田 敏 66才

志戸桶 松岡 芳 84才

大朝戸 眞野須彌子 70才

小野津 宮崎富一郎 83才

小野津 澄岡 隆美 55才

志戸桶 東 武三郎 76才

大朝戸 豊島 ヨシ 90才

赤連 盛岡 ヨシ 87才

羽里 龍田 幹男 78才

社協だより

■香典返し（敬称略）

坂 嶺 開 孝俊  
志戸桶 梅林 カラエ  
志戸桶 里山 源博  
手久津久 前田 一規  
志戸桶 松岡 博忠  
阿 伝 岡本 敏美  
小野津 澄岡 晃代  
志戸桶 東 トシ  
嘉 鈍 大山 成治

税で創る、あかるい未来

2月末は 固定資産税4期分の納期限です。

納期限内に必ず納めましょう。

### 喜界町の推計人口

（平成22年2月1日現在）

世帯数	3,732戸	(△2)
人口	8,141人	(△12)
男	3,915人	(△9)
女	4,226人	(△3)

( ) は前月比

※先月号10ページで「東龍太郎」とあるのは「東龍之介」の間違いです。お詫びして訂正します。

## ご存じですか？防災無線を携帯メールで受信できます！！

～利用方法～

- 1・喜界町ホームページにアクセスします。
- 2・一番下にある **防災無線放送** をクリックします。
- 3・見出し2行目の「メールアドレスの登録・解除は**こちらから**」をクリックします。
- 4・「全てを受信」にチェックを入れて、メールアドレスを登録すれば完了！

「こちら」をクリック



全国どこでも島の情報をゲットしよう！



## オノツダイコン（小野津大根）

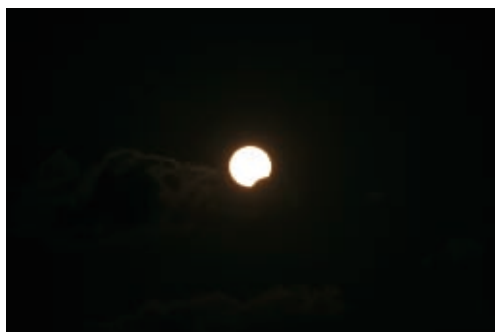
**地** 中海沿岸から中東が原産でアブラナ科ダイコン属の一年草。ダイコンは、根、茎、葉（スズシロ（清白）、春の七草）が食用とされ、種子からは油をとるなど捨てるところがない。日本には弥生時代に大陸から入ってきた。古代エジプトではピラミッド建設の際、労働の対価として支給されていたという。

品種・調理法とも豊富であり、古くから食卓に欠かすことのできない重要作物となっている。主な国内品種は、桜島、聖護院（京野菜）、練馬、守口（漬け物に向く）など多彩。

小野津ダイコンも古くから島に伝わる在来作物。その名は「島ミカン（チャーミカン）」と並んで奄美大島でも有名であった。慢性的に薪（タンム）不足に悩んでいた島では、小野津ダイコンを大島で売り、代わりにタンムを買っていた。これらの運搬船「むらさき丸」が小野津泊から出ていたという（吉塚廣次さん談）。

花良治以外で栽培された花良治ミカンは味が落ちるといわれるが、小野津ダイコンも同様。小野津集落は島の最北に位置し、根が成長する時期に冷たい北風を常に浴びることで、旨味成分を蓄積するのだろう。他のダイコンと比較して、汁が多く身が柔らかいため煮汁がよく浸みる、鼻にツンとくる辛味が少ない、太く短い、などの特徴がある。花が咲くと味が落ちるといわれる。

シマユミタは「デークニー」。小野津小学校の農園にて。一般的なダイコンの花ことばは「潔白」「適応力」。

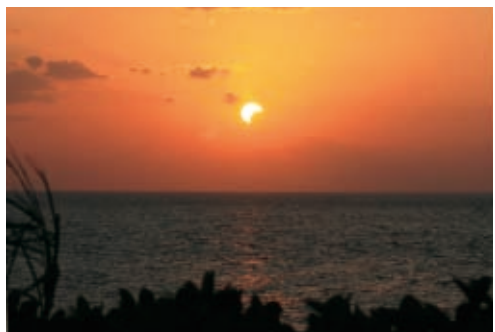


午後4時50分頃から  
太陽を月が隠し始めた  
(吉行 進さん撮影)

2010年1月15日

## 部分日食

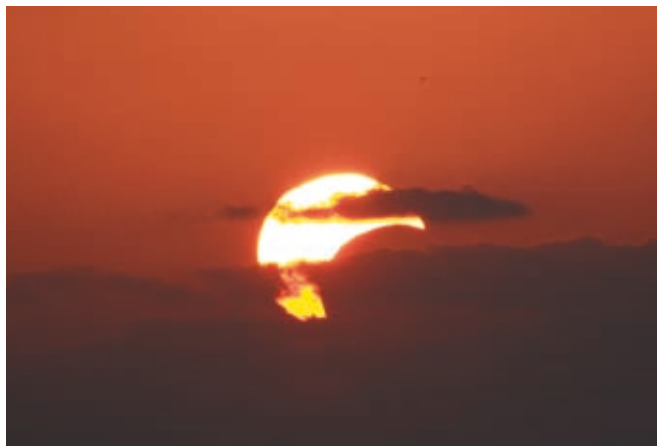
in KIKAIJIMA



荒木中里遊歩道より  
(峰山 恵喜光さん撮影)



テーブルバンタから上嘉鉄方向  
左下に見えるのは建設中の南部地区浄水場  
(隈崎 悦男さん撮影)



夕雲をまとい、寄り添って海へと還る「月と太陽」  
荒木中里遊歩道より (藤元 彦典さん撮影)

50年に一度！【感動の天体ショー】再び  
「日没帯食」写真集